

給与処理dbに関する不具合のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。

現在、令和7年分年末調整対応の給与処理dbにおいて、配偶者控除の計算に影響する不具合があることが判明しましたので取り急ぎご案内申し上げます。

お客様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

発生している不具合について

現在、以下の不具合が確認されています。

- ・ 配偶者の配扶養区分が、意図せず「対象外」と「一般」が切り替わる場合がある

※ **12月1日配信の令和7年分年末調整対応プログラム（Ver16.002以降）で、年末調整作業を実施している場合、入力や確認の過程で再計算が行われるため、本不具合の影響はありません。**

不具合の詳細

1. 配偶者の配扶養区分が、意図せず「対象外」と「一般」が切り替わる

給与マスターにおいて、配偶者の配扶養区分が「対象外」と「一般」が切り替わるケースがあります。

【発生条件】プログラムバージョンVer16.002以降

以下すべてに該当する場合に、現象を確認しています。

- ① 配偶者の配扶養区分が「対象外」の社員
- ② 年調プログラム16.001(11/19リリース分)にバージョンアップをした際の給与マスターの処理月が11月
- ③ ②の状態のマスターにおいて、**入力画面を開き選択していない社員**
- ④ 年調プログラム16.002以降において、③の状態マスター（処理月が11月）で、年末調整データ入力の保険料控除入力で選択した社員

※ 「基礎/配偶者/特親/調整控除申告書」で選択した場合は「一般」から「対象外」に切り替わります。

【影響範囲】

配偶者控除が誤って適用されるため、税額計算に影響が出ます。

【対応方法】

配扶養区分は「個人変動情報リスト」で一覧確認することができます。

年末調整データ入力画面より、確認帳票メニューの個人変動情報リストからご確認ください。



確認後、「社員登録F8」の「扶養情報①」タブで配偶者の“配扶養区分”を確認いただき、正しい区分に変更してください。社員登録を「OK(End)」で閉じると再計算がかかります。

本人情報 住所		扶養情報①		扶養情報②		労働条件		社会保障		税金		支給方法		前職		電子申告	
世帯主の氏名		氏名・カネ(姓/名)		続柄		生年月日		住所 (検索機能)		配扶養区分		障害者区分		所得見概額			
大阪 花子		大阪 花子		昭和50年04月02日						一般		障害者区分		給与所得		350,000	
配偶者		花子		昭和50年04月02日						非居住者		障害者区分		給与所得		350,000	
										生計を一にする事実							
扶養1										対象外							
										非居住者要件		30歳未満、70歳以上		30万円以上の支払		留学 障害者	
										生計を一にする事実							

修正プログラムのご提供予定について

上記不具合につきましては、

12月25日（木）に修正プログラムの提供を予定しております。

年末調整のご多忙な時期にご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

修正プログラムの提供まで今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

以上